

「成田空港の更なる機能強化」住民説明会での質疑応答の概要

◎第1回

開催日：平成28年10月6日 午後6時30分～8時35分

会場：大総小学校体育館

参加者：85名（一般の方）

（質問者①）

- ・移転地区として谷台（やつだい）地区があり、Lden 66 dB のコンターの線が集落を分断しているが、谷台地区は狭く、28世帯の小さな集落で結びつきが強い。集落としての機能を維持するために、集落分断は困る。

〔回答 千葉県〕

- ・騒音レベルが Lden 66 dB となる防止特別地区は建築規制がかかる反面、移転補償があります。防止特別地区については、コンターを基に集落分断なども勘案し、地元の皆さんの声を聞きながら町とも相談して検討したいと思います。

（質問者②）

- ・夜間の航空機離発着時間の拡大を認めることはできない。3年前も同じ主張をしたが、飛行時間の約束を厳守しないと、24時間空港になってしまう。
- ・成田空港は内陸空港であり、空港を拡張しないで、国際線を羽田空港へもっていけばよい。

〔回答 成田国際空港株式会社（NAA）〕

- ・飛行時間についての重い約束は承知しています。
- ・しかし、今後増える訪日外国人を取り込んで成田空港が海外の空港と競っていくためには、夜間飛行制限の緩和を実施させていただきたいと考えており、内窓の設置などの騒音対策や共生策を充実することで、皆様のご理解を得たいと考えています。

〔回答 国土交通省〕

- ・成田空港が内陸に位置している特性を踏まえてというご指摘はもったもであると思います。
- ・国土交通省としては、成田空港と羽田空港どちらかという話でなく、首都圏空港として、アジアの空港間競争に勝っていかなければならないと考えています。今後の国際競争強化のため、成田空港の抜本的な容量拡大は必要不可欠であると考えています。

(質問者③)

- ・成田空港が開港できたのは、夜間飛行はしないと約束したからではなかったか。夜間飛行制限の緩和には反対する。
- ・空港からの交付金はいわば迷惑料であり、それを増やすからと言って、夜間飛行して良いということにならない。
- ・騒音地区の民家の寝室に内窓をつけるから、騒音を我慢しろという話はない。

[回答 NAA]

- ・騒音対策を含めて、今日が説明のスタートであり、議論の扉は閉めないでいただきたいと思います。
- ・内窓の設置の提案は、睡眠時間確保のためであることをご理解いただきたいと存じますが、ご意見をしっかりと受け止めさせていただきます。

(質問者④)

- ・成田空港が、どういう経緯でできたのかをよく考えてほしい。騒音対策しようが、航空機が飛ばば音はする。カーブの弾力的運用をはじめてから間もない。舌の根も乾かないうちに、飛行時間を延長するという話はない。
- ・空港の機能強化をしても私たちに利益はない。町には年間4億円が交付されていると思うが、迷惑料であって経済効果はない。空港間競争をして、私達の生活が良くなるのか。私たちは自分の生活が第一である。

[回答 NAA]

- ・ご意見は受け止めさせていただき、引き続き説明をさせていただきたいと思います。
- ・空港の機能強化により、空港関連企業の雇用が増えるなど、地域の活性化につながると思います。
- ・交付金については、先行的な交付や、地域振興に使える枠を設けるよう検討しています。今後、空港があつて良かったと思っただけのように考えていきたいと思っています。

[回答 国土交通省]

- ・一般論で申し上げれば、訪日外国人の増加などにより、空港周辺の雇用拡大や産業集積につながっていくと考えています。しかし、それは全体の利益であるということ、重々認識しています。
- ・空港あつての地域、地域あつての空港であると皆様に思いを持っていただけるよう、取り組んでまいりたい。

(質問者⑤)

- ・深夜深夜と言っているが、庭で子供と遊んでいる時、航空機が飛んでいると声をはりあげないと昼間でも会話できない。そういう状況を把握されていないのではないか。
- ・子供のためと思って空気の良い横芝光町に住んでいるが、防音サッシでは涼しい風を感じられない。防音サッシをつけても、全部の生活面が改善されるわけではない。
- ・お金の問題ではないということ十分に理解していただきたい。

〔回答 NAA〕

- ・屋外での騒音でご迷惑をかけていると思いますが、低騒音な航空機ほど着陸料を安くし騒音を軽減しようとしていることについてはご理解をいただきたいと思います。

(質問者⑥)

- ・配布資料にあるコンター図では、よくわからない。体育館内に貼り出しているコンター図を各地区にいただけないか。

〔回答 NAA〕

- ・貼り出しているコンター図は役場へお渡しし、各地区への配布については検討したいと思います。

(質問者⑦)

- ・私のところで騒音測定をしてくれと頼んだら、測定地点は決まっていると言われた。広範囲に測定すべきでないのか。今までもNAAは聞く耳をもたない。
- ・今回も、もう決まっていることだから、聞く耳を持たないというやり方ではないか。

〔回答 NAA〕

- ・こうした説明会を通じて皆様のご意見を伺いたいと考えています。

(質問者⑧)

- ・空港機能強化により、これからの横芝光町の人口減少を心配している。今回の空港拡大に必要な面積は、各市町どれくらいか。また、これに対する固定資産税はどれくらいか。
- ・空港機能強化によっても当町には空港施設はなく、固定資産税は入ってこないで、その点は十分に考慮してほしい。

〔回答 NAA〕

- ・空港拡張に必要な面積は1,000haですが、多古町が250ha、芝山町が650ha、

成田市が 100ha であり、固定資産税については、今、正確にお答えはできません。

(質問者⑨)

- ・ 今回の機能強化の提案は、住民説明会の結果を踏まえ、様々な角度から検討する余地があるものと思っているが、そのような理解でよいか。
- ・ 町長のあいさつで、町長のスタンスを聞いて安心した。ブレずに対応して欲しい。
- ・ 最近の定例町議会の様子を見ると、あまり空港問題が活発に議論されていないようだ。空港の機能強化の問題は、町の重要課題と考えて欲しい。
- ・ 本日の会議録は、閲覧できるのか。
- ・ 会議の進め方として、あいさつや説明が長かった。われわれが聞きたいことにポイントを絞って、説明して欲しい。

【回答 NAA】

- ・ 四者協議会で了解を得たのは、あくまで案を地域に説明することであって、今回の提案で決まりでなく、皆様と向き合って相談をさせていただきたいと思います。

【回答 横芝光町】

- ・ 住民説明会の質疑の要旨は、後日、町ホームページに掲載する予定です。
- ・ 会議の進め方については、改善します。

(質問者⑩)

- ・ 夜間飛行制限の緩和についてのみ意見を述べるが、当然反対である。
- ・ 9月27日の四者協議会から今日の住民説明会までの期間が短い。10月末に冬ダイヤが始まり、羽田空港に便がいつてしまうことと関係があるのか。
- ・ 成田空港の容量拡大ということだが、代替案として、成田空港の需要を茨城空港に移して、茨城空港から成田空港への高速道路を早く開通させれば良いのではないか。

【回答 NAA】

- ・ 繰り返しになりますが、ご意見は受け止めさせていただき、引き続き説明をさせていただきたいと思います。
- ・ 住民説明会については、町当局からも皆様になるべく早く説明したいとの話があり行っているもので、冬ダイヤに向けて説明会を急いで行うという意図はありません。

【回答 国土交通省】

- ・ 国としては、成田空港で機能強化を図りたいと思っています。茨城空港の活

用についても、引き続き国でも検討を進めていきます。

◎第2回

開催日：平成28年10月8日 午後2時～4時

会場：大総小学校体育館

参加者：43名（一般の方）

（質問者①）

- ・先祖代々から谷台（やつだい）地区に住んでいるが、第3滑走路を造るという提案があり、Lden 66 dBのコンター線で谷台地区が分断され、動揺している。提案された案が通るのであれば、全戸を移転してほしい。

〔回答 千葉県〕

- ・移転区域については、今後、合意されたコンター図に基づいて線引きに着手します。集落分断をできるだけ回避できないか、住民の皆さんの声、町の意見を聞きながら作業を行っていきたいと考えています。

（質問者②）

- ・飛行時間については、成田空港開港当初からの約束があったはずであり、空港会社の都合で変更されては困る。
- ・今までも大総（おおふさ）地区は成田空港に十分協力していると思うし、できれば第3滑走路は造らないでほしい。
- ・騒音対策は、寝室だけでは困る。

〔回答 NAA〕

- ・飛行時間については、開港当初に運輸大臣と千葉県知事との重い約束があることは承知しています。一方、今回の機能強化は成田空港が引き続き日本の表玄関として頑張っていくための提案であり、いただいたご意見を受け止めて検討したいと考えています。
- ・騒音対策は、まず防音工事により20～25 dB程度の防音効果が見込めますが、さらに皆様の睡眠の確保を図るために寝室の内窓を検討しているところです。

（質問者③）

- ・極端な話だが、今回の件が実施されれば、航空機の騒音で大総地区には子供がいなくなってしまう。4時間の睡眠で人間が過ごしていけるのか。
- ・飛行時間の件は、地域住民ときっちり話し合っしてほしい。大総地区は従来から他地区より騒音が大きい。
- ・この点は、町長にも意見を聞きたい。

〔回答 NAA〕

- ・この提案が出発点であり、地域の皆様との話し合いを進めていきたいと思えます。

〔回答 町長〕

- ・成田空港開港の閣議決定から50年。私も空港の恩恵をあまり感じていません。
- ・今回の提案は、町が発展するのか、負の部分が大きくなるかの瀬戸際であり、国やNAAなどの関係機関と十分に協議する必要があります。
- ・この問題は高いハードルであるが、まずは皆さんへ現状を伝えて、方向性を考えていきたいと思えます。

(質問者④)

- ・第3滑走路ができれば、Bランから南へは飛ばないか。これは守られるのか。
- ・飛行時間について、開港当初の約束が空港会社の都合で変わってしまう。国・県は、国民と県民のため、住民側にたっていただけないか。

〔回答 NAA〕

- ・第3滑走路が供用されれば、通常はBランから南へ飛行することは想定していませんが、進入復行など特殊な事情がある場合に可能性がないとまでは言えません。

〔回答 千葉県〕

- ・飛行時間は運輸大臣と千葉県知事の約束であり、承知をしています。県は地域の皆様方の方を向いておりますし、運用時間の緩和について地域に大きな影響があることは認識していますので、真摯に対応していく必要があると思っています。

〔回答 国土交通省〕

- ・われわれとしては、地域の皆様方の生活を守る責務がある一方、国全体の経済を考える責務もあります。このような機会にご意見を伺い、着地点がどこにあるのか探ることが必要だと思っています。

(質問者⑤)

- ・現状で、自宅近く（栗山地区）の騒音レベルを教えてください。
- ・飛行時間を6時から23時までとしている根拠は何か。健康被害を考慮したとか…。

〔回答 NAA〕

- ・今の騒音レベルですが、横芝小学校でLden 55.5 dB、上堺小学校でLden 55.0 dBとなっています。

〔回答 町長〕

- ・機能強化案が実現すると、例えば横芝駅の騒音レベルは、今のカレドニアンゴルフクラブのエントランス付近程度になるそうです。

〔回答 国土交通省〕

- ・当初の約束の根拠については、基本的には当時の羽田空港のダイヤを成田空港に移行したものです。

(質問者⑥)

- ・第3滑走路は、AあるいはBランの隣とか、現にある空港の近くにある方がよいのではないかと。

〔回答 NAA〕

- ・提案した案は、B滑走路と第3滑走路を一体として使用でき空港の容量拡大につながるもので、ターミナルビル、エプロン等を増やしていくことを考えると、遠すぎることはなくちょうど良い位置関係だと考えております。

(質問者⑦)

- ・提案のあった案の決定は、いつ頃されるのか。
- ・夜間飛行時間を3時間延長した場合の経済効果を示してほしい。
- ・今日は反対意見も多いが、住民が納得できるよう説明を続けてほしい。

〔回答 NAA〕

- ・機能強化案は、四者協議会であらためて結論を得ることになっており、あらかじめ期限は定めず説明を行っていますので、いつ決定されるかは現段階でわかりません。
- ・経済効果は算出していませんが、訪日外国人旅行者の滞在時間が拡大することなどによって、地域の観光振興や成田空港の更なる拠点化が期待できると考えています。
- ・今後も、地域の皆さんと双方向での対話を通じて、ご理解をいただけるようにしてまいりたいと思います。

(質問者⑧)

- ・コンター線の外は騒音がないと思ってしまうので、町全体の騒音レベルを放射線状に示してほしい。
- ・夜間飛行時間を緩和したら、成田空港から横芝駅までのアクセスを考える必要があるのではないかと。
- ・ピーチ航空は、第1ターミナルを使用しているが、ほかのLCCと同様に第3ターミナルを使用するようにしてほしい。
- ・成田パスポート(N.PASS)を町役場で発行できるようにならないか。

〔回答 NAA〕

- ・騒音レベルについて、複数のポイントの値で、町全体としてこのような感じになるというのを想定していきたいと考えています。
- ・交通手段は、これから充実を図っていく議論がなされると思っています。
- ・使用するターミナルは、航空会社の意思によりますので、空港会社ですべて管理できるものではありません。
- ・N.PASS 発行については、ご不便をおかけしています。今後、検討いたします。

(質問者⑨)

- ・夜間飛行制限の緩和の時期をどのように考えていますか。

〔回答 NAA〕

- ・空港の設置管理者としては、可能な限り早期に実現したいという思いはありますが、一方で皆様の生活環境に関わる大きな問題であり、内容やその対策に対してご理解をいただくのが先決であると考えています。

(質問者⑩)

- ・A滑走路と第3滑走路の谷間地域や隣接地域への対策を、どのように考えているか。

〔回答 NAA〕

- ・騒防法第1種区域は、Lden 6 2 dB のコンター線の外側に地形・地物などを考慮して国が決めることとなります。谷間地域などは、その後に、騒防法を超えたいいわゆる成田方式による対策が議論されると思います。

(質問者⑪)

- ・谷間地域対策は、地域とよく相談してほしい。谷間地域の土地評価額は下がると思うが、その補償はどうなるのか。
- ・機能強化によって落下物の危険が増すが、補償はあるか。

〔回答 NAA〕

- ・町等が固定資産税に対する補助金を支出する場合などに協力していきたいと思えます。
- ・落下物については、国と共に発生しないように努力していきます。万が一に発生した場合、原因の航空会社が特定されればその会社が補償し、特定できなくとも、空港会社と各航空会社等で結んでいる協定により、原因があると思われる複数の会社で補償することになっています。

(質問者⑫)

- ・我々はこれ以上、空港が発展しなくて結構だと思っている。訪日外国人やLCCより自分の生存権の方が大切である。
- ・カーフェュー緩和から3年、3年前になし崩し的な飛行時間の拡大はしないというお話だった。
 - ・防音工事対象の範囲は、今あるすべての家屋を対象として行うのか。

[回答 NAA]

- ・ご意見は受け止め、皆さんの理解をどうすれば得られるかを考え、今後も話し合いを進めたいと考えます。
- ・なし崩しとのご指摘については、成田空港の20～30年後を見据えて対策も含めて提案させていただきましたのでご理解いただきたいと思います。
- ・防音工事の対象は、騒防法の告示の際に所在する学校、病院、住宅等が対象となります。

◎第3回

開催日：平成28年10月8日 午後6時30分～8時20分

会場：文化会館

参加者：124名（一般の方）

（質問者①）

- ・機能強化案によった場合、ここ（文化会館）は、騒音レベルがどこも同等になるのか。航空機の高さはどうなるか。
- ・飛行時間を6時から23時までとする約束を、どのような手続きで変えるのか。また、空港の24時間化は考えているのか。

〔回答 NAA〕

- ・騒音は、おおむね今の多古町牛尾地区と同じ程度になると思います。航空機の高さですが、着陸時の横芝駅上空で、今の約900メートルから約570メートル程度となる見込みです。
- ・飛行時間は、成田空港開港時の運輸大臣と県知事との約束であり、重いものと受け止めています。皆様のご意見をしっかりと受け止め検討していきたいと考えています。今回の案は、15年～30年を見越した中での提案であり、そのうえで成田空港の24時間化は考えていません。

（質問者②）

- ・今の成田空港の離発着回数を教えてほしい。今回の提案で、飛行の頻度はどれくらいになるのか。
- ・機能強化については、国の政策なら仕方ない面はあるが、騒音を心配しているし、受け入れには覚悟が必要である。空港が栄えて町が衰退することのないよう、鉄道やシャトルバスなど空港への交通アクセスの向上、空港での雇用の増加など、思い切った対策が必要である。

〔回答 NAA〕

- ・27年度の離発着は23.5万回であり、今年度は24.4万回を見込んでいます。50万回時は、航空機はピーク時には約2分に1回の割合で飛行する可能性があります。
- ・空港づくりは地域づくりと考えており、空港内の雇用も含めて、関係市町の地域振興には最大限協力をしたいと思っています。

（質問者③）

- ・国際線の成田空港と羽田空港のバランスをどのように考えているか。成田空港の容量を拡大して、アジアのライバル空港と果たして戦えるのか。

- ・開港当時から飛行時間の約束があるのに、それを延長して我々がなぜ犠牲になるのか、納得できない。

〔回答 国土交通省〕

- ・羽田空港は、都心の航路の変更により3.9万回増えることを想定しているが、首都圏の航空需要からすれば到底足りない状況です。首都圏全体の航空需要を賄うために、成田空港の容量拡大をしていきたいと考えています。
- ・国の施策と地域の皆様の負担を考慮しながら調和点を検討していきたいと考えています。

(質問者④)

- ・何を根拠に訪日外国人が増えると言えるのか、予測の話をもとにコンター線をきっちりと引けるのか。
- ・寝室につける内窓は、何部屋まで可能か。防音工事は誰が行うのか。説明会は今後もあるのか。その他、いろいろ聞きたいことがあるので、連絡先を教えてください。

〔回答 NAA〕

- ・訪日外国人については、政府目標もあり増やしていきたいわけですが、騒音コンターは予測であり定期的な見直しは行います。また、コンターを基に策定された対策区域の検証は行います。
- ・寝室は複数あると思っていますが、詳しい制度設計は今後に行います。防音工事は、騒防法第1種区域はNAAが、準谷間区域は町が行っています。説明会はこれからも開催する予定です。機能強化に関する問合せ先は、電話番号0570-000-955です。

(質問者⑤)

- ・夜間飛行時間の緩和は、第3滑走路が建設された時に行うのか。
- ・午前1時まで飛行をすると、夜間はどれくらいの便数が増えるのか。
- ・健康維持のためには、医学的にどれくらいの睡眠が必要か。飛行時間の緩和は、住民の健康を度外視していると思う。2～3年後には24時間空港になってしまうのでは。町長には、町民の意向を汲んでいただきたい。この案に賛成しないと国等との関係で影響あるのか。

〔回答 NAA〕

- ・空港の設置管理者としては、夜間飛行制限の緩和は可能な限り早期に実現したいとの思いはありますが、一方で皆様の生活環境に関わる大きな問題であり、内容やその対策に対してご理解をいただくのが先決であると考えています。

- ・午前1時まで時間緩和をすると、22時台から0時台までの間で滑走路ごとに32回、全体として96回と想定しています。
- ・睡眠時間については、医学的見地からの発言はできませんが、騒音対策により皆さんの安眠を確保したいと考えています。

〔回答 町長〕

- ・飛行時間の約束は極めて重く、緩和を軽々しく認めるわけにはいかないと思っています。

(質問者⑥)

- ・コンター線の外でも相当の騒音である。成田空港の機能強化は理解できるが、ふるさとがなくなってしまうては意味がない。どこで調和をとれるのか、調和点がないと理解をいただけないと思う。横芝光町民にとって、5時から深夜1時までという飛行時間の緩和は賛成できないのではないか。

〔回答 NAA〕

- ・騒音対策範囲はコンター内だけでなく、いわゆる成田方式で谷間地域や隣接地域でもきめ細かく行うことになると思います。
- ・町の発展のためにできる限り協力し、空港の発展と町の発展が調和するよう考えていきたいと思っています。

(質問者⑦)

- ・第3滑走路建設は決定事項か。国土交通省の方に聞きたい。
- ・夜間飛行制限の緩和や第3滑走路建設は、仮に住民投票を行って反対となったら、覆るのか。

〔回答 国土交通省〕

- ・第3滑走路建設は決定ではなく、関係市町と話し合いを進めていきます。

〔回答 NAA〕

- ・住民投票についてはこの場で確定的なことは申し上げられません。今はご理解をいただけるよう努力いたします。

(質問者⑧)

- ・飛行時間6～23時という約束を守ってほしいし、新しい滑走路は別の所に造ってほしい。

〔回答 NAA〕

- ・機能強化案の説明を始めたばかりであり、貴重なご意見として承ります。

(質問者⑨)

- ・資料にあるコンターとは何か。
- ・資料のコンター図にあるAランの青と緑の線はなにか。
- ・Aランの緑の線は楕円形になっていないが、これは地域住民との交渉で決まったものなのか。

〔回答 NAA〕

- ・コンターは、音の影響がどこまで及ぶかを線で示したものです。
- ・青が現行の騒特法の防止地区のラインであり、緑は現行の騒防法の第1種区域のラインです。
- ・緑の線は、コンターを基に地形・地物を勘案して引かれたものです。

(質問者⑩)

- ・防音工事は、世帯の人数により限度額が決まっている。人数ではなく、その家全体を防音するという考え方をとれないか。そうでないと、一人暮らしの世帯など、限度額が定まっているために中途半端な防音工事となりかねない。

〔回答 NAA〕

- ・一定の制限を設けざるを得ないものであり、世帯の人数により限度額を定めさせていただきます。

◎第4回

開催日：平成28年10月16日 午後2時～3時50分

会場：町民会館

参加者：172名（一般の方）

（質問者①）

- ・南風の場合、C滑走路を出発に、B滑走路を到着に使用するというので良いか。

〔回答 NAA〕

- ・南風の場合はC滑走路を離陸に、B滑走路を着陸に使用し、北風の場合はB滑走路を離陸に、C滑走路を着陸に使用します。C滑走路は南側で離発着し、B滑走路は北側で離発着することとなります。

（質問者②）

- ・この説明会後のプロセスはどうなるのか。この案は、今後変更が可能なのか。
- ・内陸空港である成田空港に3本目の滑走路が必要か。中部空港の活用を考えたらよい。夜間飛行制限の緩和は特に反対である。
- ・エアコンを設置しても電気代は個人負担であり、この点を検討してほしい。

〔回答 NAA〕

- ・今回の議論は、期限を切らずに双方向で行うつもりです。結論は、国・県・関係市町・NAAで話し合うことになると思います。
- ・首都圏の航空需要を満たすためには、羽田空港の容量拡大と共に、成田空港の第3滑走路と夜間飛行制限の緩和が必要であると考えています。
- ・エアコン電気料などへの対応は、関係機関と協議をしながら今後考えていきます。

〔回答 国土交通省〕

- ・訪日外国人旅行者数の目標があり、他空港の強化も着々と進んでいますが、成田空港の機能強化が必要であると思っています。

（質問者③）

- ・朝5時から深夜1時まで航空機が飛んで、安眠できるのか。ハブ空港は羽田空港ではないのか。成田空港が一番になる必要があるのか。これ以上の騒音は我慢ができない。羽田空港の拡張は考えられないか。

〔回答 国土交通省〕

- ・羽田空港は4本目の滑走路を作ったが、船の航路との関係があり、5本目の滑走路建設は決まっていません。

(質問者④)

- ・夜間飛行制限緩和には反対する。コンター図の赤線の外側になると、騒音対策はないのか。

[回答 NAA]

- ・騒音対策区域は、お示したコンターを基に、地形や地物等を勘案して定められることとなります。

(質問者⑤)

- ・成田空港が繁盛すれば、産業振興になる。被害者意識だけでは前へ進めない。皆さん反対のようだが、私は機能強化案に賛成する。

(質問者⑥)

- ・成田空港の開港時に、飛行時間について約束がある。その約束がなし崩しになってしまわないか。今日の資料を見ると、この提案で決定とってしまうが。

[回答 NAA]

- ・この提案で決定したということではありません。

(質問者⑦)

- ・資料によると、現在の首都圏空港の離発着回数は75万回とあるが、成田空港と羽田空港の内訳はどうなっているか。
- ・また、資料を見ると深夜12時台の離発着は10便程度となっているが、違うページでは便数制限は撤廃と書いてある。10便程度というのは、無視されるのではないか。
- ・次は要望だが、今回の説明を、将来を担う人たちがいる学校でしてほしい。航空機の飛行は、5時から24時までを希望する。

[回答 国土交通省]

- ・75万回のうち、成田空港が30万回、羽田空港が45万回となっています。

[回答 NAA]

- ・私どもでは22時台の便数制限は廃止できないかと考えていますが、航空会社のニーズから言えば、当該時間帯の需要がやみくもに増えることはないと考えています。
- ・学校での説明については、町とも相談してみたいと思います。

(質問者⑧)

- ・第3滑走路は羽田空港へ持って行って欲しい。今でも夜は良く眠れないので、飛行時間の緩和には反対である。

[回答 NAA]

- ・機能強化案の説明を始めたばかりであり、貴重なご意見として承ります。

(質問者⑨)

- ・第3滑走路の排水はどうなるのか。高谷川へ流れるのか。栗山川はサケが遡上してくることも考えてほしい。

[回答 NAA]

- ・排水については、千葉県と相談しながら、下流に影響がないよう検討したいと考えています。

(質問者⑩)

- ・C滑走路の計画について、今の場所・位置はどのように決まったのか。たしか、Aラン、Bランと交差するような計画ではなかったか。
- ・第3滑走路は、三里塚側へ持っていけないかったのか。

[回答 NAA]

- ・いわゆる横風滑走路は、航空機の性能が向上したことで必要性がなくなったので、あらためて提案はしない予定です。
- ・国の技術検討小委員会での示された3案から、NAAとして空港機能上現在の案が優位と報告しました。

[回答 国土交通省]

- ・三里塚案を考えたことがなくはないが、羽田と空路が重なるため安全上の理由から難しいと考えています。

(質問者⑪)

- ・騒音被害のある方への対策はどのようにしていくのか。

[回答 NAA]

- ・町と相談して、窓口を設けて相談できるようにしたいと思います。また、騒防法の枠組みを超えたきめ細かい対策も町と相談しながら行いたいと考えています。

(質問者⑫)

- ・以前、Aラン、Bランで同時に離発着しないで欲しいと要望したが、今後は特にお願したい。
- ・上堺地区は、Aランと第3滑走路という2本の滑走路の谷間になる。対策を

考えてほしい。

[回答 NAA]

- 同時離着陸は、混雑時間のみ行っています。
- 谷間対策ですが、町とともに検討していきたいと考えています。

(質問者⑬)

- Bランが供用されてからは、朝は目覚まし時計いらずとなっている。暮らしている人の生活を考えてほしい。
- 栗山地区の今の騒音レベルを記載するなど、わかりやすい資料の作り方を考えてほしい。

[回答 NAA]

- わかりやすい資料になるよう工夫したいと思います。

◎第5回

開催日：平成28年10月16日 午後6時30分～8時30分

会場：文化会館

参加者：88名（一般の方）

（質問者①）

- ・ここ1、2年でBランの航空機の飛び方（例えば、着陸専門になったとか）は変わったか。
- ・旧サビア（横芝駅付近）上空を一日どれ位の航空機が飛んでいるか、回数を教えてほしい。Aランとの比率はどうなっているか。

〔回答 国土交通省〕

- ・Bランは、年間1～2万回離発着回数が増えているが、飛行ルートは変わっていません。

〔回答 NAA〕

- ・27年度の離発着回数は、Aランが約14.2万回、Bランが約9.3万回でした。Bラン南側は、平均すると約130回弱飛んでいることとなります。

（質問者②）

- ・航空機騒音による健康被害、ストレス障害や育児への影響をどう考えているか。対策を練ってほしい。

〔回答 NAA〕

- ・平成25年3月にカーフェーの弾力的運用が始まって以降、健康影響調査を行いました。今後も空港の運用に大きな変化が生じるような場合に、同様の調査を行いたいと思います。

（質問者③）

- ・第3滑走路の位置については3案があったと思うが、今回の案に決まった経緯を尋ねたい。
- ・機能強化後、横芝駅でLdenの最大値は、どのようになるか。
- ・コンターを見ると集落分断があるが、騒音対策の協議の対象となる範囲はどこまでか。

〔回答 NAA〕

- ・第3滑走路の位置については、3つの案を空港会社なりに優位性を検討し、今回提案した案が27年11月27日の四者協議会でたたき台とすることが了承されました。
- ・大型機である747-8を例にとると、横芝駅付近の最大値は、離陸時につ

いて言えば現状70dBが50万回時78dBに、着陸時について言えば現状73dBが50万回時77dBと想定しています。

- ・騒音対策範囲は一概に言えませんが、騒防法第1種区域については、地形や地物を考慮して町と相談しながら、国が告示することとなります。

(質問者④)

- ・機能強化案は、ふってわいた話であり、迷惑している。騒音については、よく書かれているが、大気汚染について把握しているのか、また対策はどうなっているか。

[回答 NAA]

- ・大気汚染については空港周辺の6測定局で調査しています。また、環境アセスメントの項目の一つとなっています。

(質問者⑤)

- ・空港からの交付金について、騒音のない所と差をつけて欲しい。
- ・説明にあったペアガラスだが、今は普通の家庭がつけている。エアコン設置の助成など、目に見える対策をお願いしたい。
- ・私達は町長や町議会議員へ負託をしているのだから、この問題の交渉をうまくやっていただきたい。

[回答 NAA]

- ・交付金については、騒音世帯数を勘案して算出しています。
- ・ペアガラスについては、一定の範囲内で単板ガラスとの差額を個人が支払わなくてもよいように改善したいと考えています。

(質問者⑥)

- ・6時から夜11時までの飛行時間が5時から深夜1時になったら、どうか問題である。我々が睡眠時間を何時間とれるかが問題である。
- ・航空機騒音による不動産価値の減少を考えてほしい。

[回答 NAA]

- ・睡眠時間の確保は重要だと考えており、そのため内窓の設置を提案しました。
- ・資産価値の減少については、町で家屋の固定資産税の軽減措置を行っているとして理解しています。

(質問者⑦)

- ・資料の図面によると、防音工事の対象として風呂やトイレなどが抜けているが、対象としてほしい。

[回答 NAA]

- ・工事対象は他空港と同様としていますが、ご意見を参考に検討したいと思います。

(質問者⑧)

- ・白浜地区は防音地域からはずれているが、航空機が飛ばない時間が深夜1時から早朝5時までとなり、子供たちにそのような生活をさせてよいのか不安を感じる。

[回答 NAA]

- ・貴重なご意見として承りました。

(質問者⑨)

- ・デシベルの関係で低周波の影響、高周波の影響を聞きたい。

[回答 NAA]

- ・低周波音による影響は環境アセスにより調査します。高周波については、持ち帰って検討します。

(質問者⑩)

- ・騒音区域の防音工事の内容を教えてください。

[回答 NAA]

- ・Lden 66 dB の区域は、サッシ・ドア・壁・天井を施工します。Lden 62 dB の区域は、サッシ・ドアの施工が騒防法の基準ですが、成田空港の場合は共生財団が壁・天井の拡充事業を行っています。

(質問者⑪)

- ・第3滑走路は横芝方面ではなく、銚子方面へ向かえないか。

[回答 NAA]

- ・すでに決定して用地買収等も始まっている圏央道計画に影響を与えず、また飛行コース等を考慮してBランと平行としました。

(質問者⑫)

- ・第3滑走路は圏央道に邪魔をされて横芝方面へ向かっている。町全体を騒音の影響範囲とする設計は、納得できない。空港の運用だけを考えている。成田空港は発展しなくてもかまわない。計画変更をお願いしたい。

[回答 NAA]

- ・第3滑走路予定地は、圏央道の土地買収等が始まっているので、それに影響

を与えない圏央道の内側で空港の機能上最適な位置としました。

(質問者⑬)

- ・機能強化案の町にとってのメリットは何か。デメリットの方が大きいと思うが。
- ・大気汚染の状況は、どうなっているか。ビニールハウスが航空機による大気汚染で真っ黒になっているが。

[回答 NAA]

- ・雇用の拡大などによる貢献ができると思います。交付金制度の充実も検討しています。
- ・環境汚染については、空港周辺の6ヶ所で測定し、当社の環境報告書などで報告しています。ビニールハウスの件は、過去に調査したことがありますが、航空機との因果関係は認められませんでした。

(質問者⑭)

- ・機能強化案によって成田市などと繁栄できるよう、わかりやすいメリットを示してほしい。

[回答 NAA]

- ・空港があつて良かったと思えるように努力したいと思います。